

1 防災・防犯

区	地域コミュニティ協議会	活動名
東	東山の下地区コミュニティ協議会	“避難所の運営”における「避難所運営委員会」の立ち上げ準備
東	木戸地域コミュニティ協議会	地域安全マップづくり事業
東	大形地区コミュニティ協議会	大形地区総合消防防災訓練
東	中野山小学校区コミュニティ協議会	防災対策事業
東	南中野山小学校区コミュニティ協議会	防災防火部会「防災研修会」名取市閑上地区視察
中央	入舟地区コミュニティ協議会	自分たちのまちは自分たちで守ろう活動
中央	白山校区コミュニティ協議会	防火防犯子供パトロール
中央	浜浦小学校区コミュニティ協議会	地域で子どもを見守る安心安全マップの作成
中央	沼垂小学校区コミュニティ協議会	新潟地震被災による防災意識啓発事業
江南	両川地区コミュニティ協議会	地域の愛・誇り・絆～ 両川の未来は「なしっ子レスキュー隊」に任せて！
秋葉	新関コミュニティ協議会	「新関安全安心見守り楽しい隊」の結成と地域の子供の見守り活動
秋葉	新関コミュニティ協議会	災害に強い福祉コミュニティづくりの推進 「イ・小学校、保育園と連携した避難訓練及び避難所運営マニュアルの検証 ロ・避難所設営並びに宿泊体験 ハ・防災の日の啓発活動」
西	西内野コミュニティ協議会	夜間防犯パトロール
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	防犯ボランティア活動事業
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	坂井輪レスキュージュニアチーム養成講座 26
西	五十嵐小学校区コミュニティ協議会	・災害時避難所調査と民間締結 ・防災の現状調査と消防機関との実態と検証
西	小針小学校区コミュニティ協議会	防災訓練実施・避難マップ作成

東区 東山の下地区コミュニティ協議会

活動名： “避難所の運営” における「避難所運営委員会」の立ち上げ準備

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

災害時への対応として、これまで、各自治・町内会ごとの避難マップづくり、電柱 140 本への“海拔表示板”の取り付け、液状化セミナーの開催などに取り組んできたが、実際の災害時には、避難所への誘導および避難所の運営に関する体制作りが重要である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

新潟市の【避難所運営マニュアル】にある「避難所運営委員会」の設立を目指し、当地区にある4つの避難所ごとにその組織作りの準備を進める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ① 災害発生時において、住民を安全に避難所へ誘導するための“誘導看板”を自治・町内会の協力を得て製作し、当地区内の要所85箇所に設置した。
- ② 東区役所主催の「避難所運営体制検討会」にコミ協役員全員が参加し、“災害時における避難所の開設”の研修を受けた。併せて当地区の避難所4か所を分担して“避難住民受け入れの部屋割り”について検討し、後日避難所施設を実地検証の上、再検討して部屋割り図面を東区役所に提出した。
- ③ 避難所の開設とその運営に関する“模擬体験セミナー”を、防災士を講師に迎えコミ協役員対象と自治・町内会の役員を対象に2回開催した。
- ④ 「避難所運営委員会」設立に向け、各自治・町内会に対し、2名程度の運営委員の選出をお願いした。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

NPO法人日本防災士会新潟県支部の防災士の支援・協力を受け進めた。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ① 避難場所への“誘導看板”の設置にした。それにより、当地域の住民だけでなく当地域内の通行者に対しても効果を発揮することを見込んでいる。
- ② “模擬体験セミナー”を通じて、避難者は多種多様であり平常時からその対策について検討を進めることの必要性を参加者に理解していただき、運営委員選出にあたって協力を得ることができた

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ① 避難所への誘導看板については、各自治・町内会に対してその製作への協力と設置場所の選定及び私有地への看板設置に対する理解を得るのに協力をお願いした。
- ② “模擬体験セミナー”において、未体験の模擬テーマ項目の設定や参加者に分担して作業を進めるため避難所4箇所へ割り振ることを理解してもらうことに苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

各自治・町内会より55名の避難所運営委員の選出（コミ協役員を含めると総勢77名）を得たので、27年度は4か所の避難所別に「避難所運営委員会」を立ち上げる。

1. 避難所への”誘導看板”設置



2. 避難所運営の模擬体験セミナー

<コミ協役員対象>



<自治・町内会役員対象>



東区 新潟市木戸地域コミュニティ協議会

活動名：地域安全マップづくり事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・子ども達が犯罪に巻き込まれる事件が度々報道されるなか、平成20年に区役所主催の本事業に関する研修会があった。
- ・自分達の地域において子どもが巻き込まれるような犯罪が発生しないようにしようとのことで行動を開始した。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・より多くの子ども達が犯罪の未然防止能力をつけること。
- ・地域安全マップづくりに参加する子どもたちを指導できる十分なスタッフを育成すること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・PTA、学校、地域コーディネーターなどと協働で参加児童の募集にあたった。
平成20年から事業を継続しているが、その有効性がPTAにも理解を受け平成25年度から学年行事として行っている。（木戸小学校：5年生、竹尾小学校：4年生）
- ・指導者となる保護者に対しては事前研修を、また、参加者全員には当日事前学習を実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

- ・PTA、学校、地域教育コーディネーター

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・事業終了後毎回、児童及び保護者の方からアンケートをとっているが、いずれも本事業によって防犯に対する新しい見方・知識が得られたという意見が寄せられている。
- ・PTA・学校からも「地域安全マップづくり」の有効性について評価が得られ、平成25年度から学年行事として行うことになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

「地域安全マップづくり」を指導するスタッフは、当初、考案者である小宮先生の研修会を受講した自治会長や地域教育コーディネーターなどを主体としていたが、事業の継続性と底辺を拡げるため、その都度参加する保護者に対して、夜間に事前講習を行って指導者となってもらっている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・現在の体制をもって今後も継承して行っていく。

活動状況写真



東区 大形地区コミュニティ協議会

活動名：大形地区総合消防防災訓練

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

何時発生するかわからない災害に対する準備ができていない。地域一体となった、災害への訓練等が必要と考えた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

消防団、地域防災会、コミ協など地域全体での防火防災訓練を計画、実施することとした。
(避難所までの避難誘導訓練、消火活動、炊き出し、応急担架作成、AEDなどの取扱い技能取得や災害時使用機材の習得訓練など)

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

佐渡沖を震源とする大地震が発生し、道路、電話等各種公共施設に甚大な被害がでており、倒壊した家屋から火災が多発するとともに負傷者が続出し、さらに多発した火災は延焼拡大の恐れがあり、住民の避難が必要となった状況を仮定して、避難所に集合し上記訓練などを実施した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

大形小学校、大形中学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

訓練を実施することにより、災害時の避難や簡易担架の作成および負傷者の運搬、初期消火、アルファ米による炊き出し、AEDの操作などを実践することができた。
発電機など災害時に必要な機材を展示し、設置の仕方、取扱い方法などを習得した。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地域消防団との合同訓練を実施し、消火活動やAEDなどの操作を参加者に体験してもらい、また消防ポンプによる放水作業も見学することができた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

訓練参加団体が固定化されている。地域全体での訓練であるから、みんなで声をかけあって全自治会からの参加者で開催できるようにするなど検討が必要と思われる。



東区 中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災対策事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

東日本大震災をきっかけに、地域住民の間でも危機感が高まり、防災に対する意識をより具体化する必要に迫られたため。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

防災対策先進地への研修にもとづき、防災対策活動を定期的・継続的に実施していく。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 先進地の視察研修
2. 防災に関するワークショップの実施
3. コミ協全体の自主防災組織の設立

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

中野山小学校、消防団

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

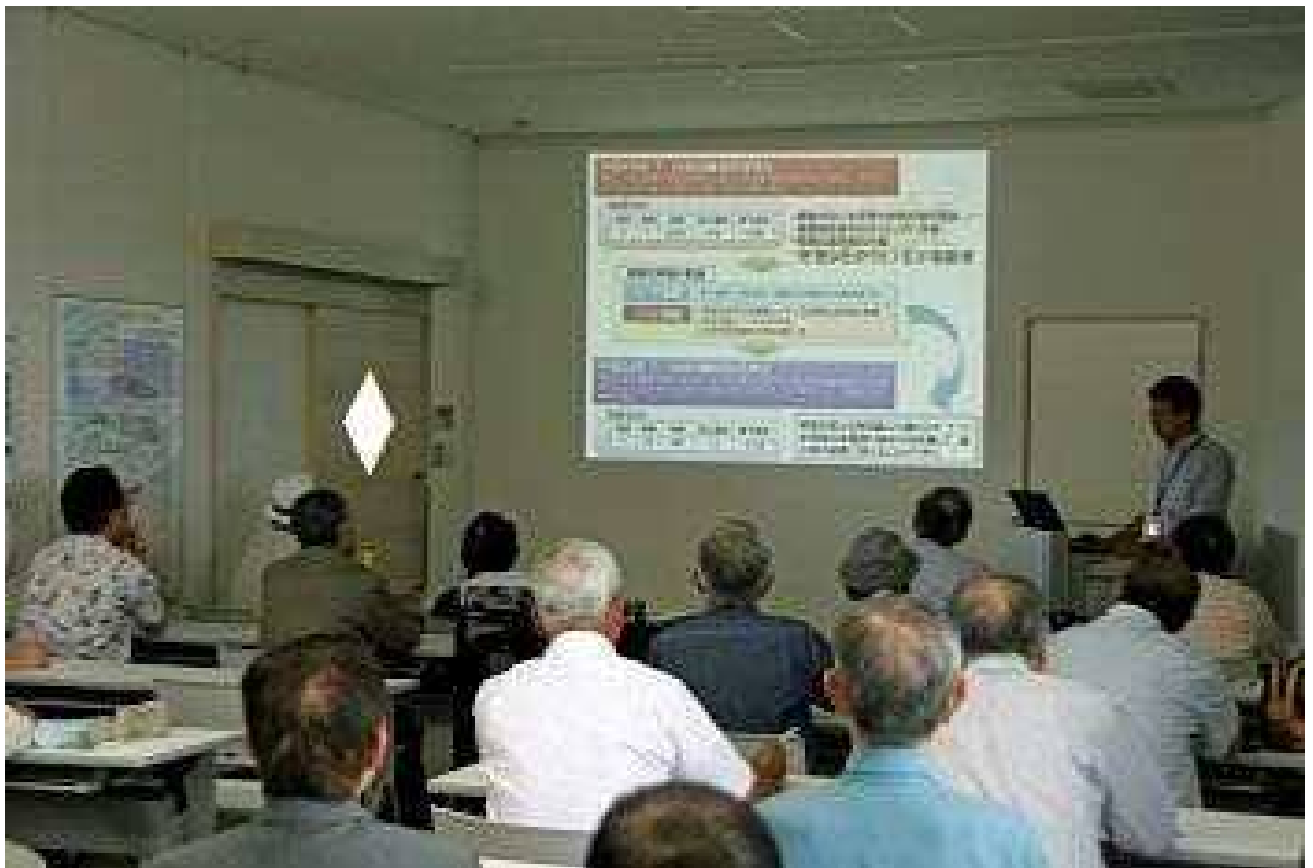
1. 自主防災組織の仕組みづくりができた。
2. 住民の防災意識を徐々に高めることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 全自治会の参加を促し、地域一体となるように図った。
2. 大勢の方々の意見を、自主防災組織の仕組みづくりの際に集約するのに苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

コミ協で検討委員会をつくり、防災計画の改善に努める。



東区 南中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災防火部会「防災研修会」名取市閑上地区視察

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

災害において、自分の命の大切さを学び、地域の人々の命の大切さを感じてもらいたかった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

東日本大震災で、特に人的被害および建物被害の大きかった被災地を、目で見てそして被災者の話を聞く。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

インターネットで情報を集め、現地の被害者団体と、電話・FAXでの連絡を取り、視察の下見のため現地に行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

防災活動に対して、参加者の意識が変わり、知識の蓄積と浸透ができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・下見に行き、現地スタッフと視察の目的の打ち合わせをした。
- ・参加者に研修会の「目的」を伝えて理解していただいた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・防災活動の一環として、今後も防災研修会で現地視察を続けていく。
- ・地域の避難訓練・防災訓練に生かしていきたい。



平成 26 年 11 月 5 日 南中野山小学校区コミュニティ協議会
防災防火部会研修会「名取市関上地区視察」
津波被災廃校 関上中学校前にて



認定NPの法人「地球環境ステージ」
「ゆりあげの記録」案内人「丹野裕子」さん

中央区 入舟地区コミュニティ協議会

活動名：自分たちのまちは自分たちで守ろう活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

この地区は特殊詐欺と思われる電話、車上盗難が大変増えています。自主防犯団体による防犯パトロール等の活動は「地域の目」として、犯罪の抑止に大きな効果があるといわれています。よって組織の強化が必要。また児童・生徒がこの地区に通う人数が増えるため見守り活動が必要。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

コミュニティ協議会合同パトロールをはじめ活発な活動を展開して地域住民の犯罪意識を高めるとともに、住民同士のコミュニケーションをはかり、犯罪にあう人を出さない。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ①安全環境部会 隔月1回・パトロール推進委員ミーティング 隔月1回
- ②コミュニティ協議会合同夜間パトロール 年間4回 ③特殊詐欺防止啓発活動
- ④入舟地区児童同伴高齢者宅安全訪問 ⑤婦人部毎日のながらパトロール⑥毎月第二月曜日全自治会長児童・生徒の街頭指導

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

豊照・附船交番 中央警察署生活安全課 少年警察ボランティア 特殊詐欺強化委員

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

*コミ協合同夜間パトロール及び青色防犯灯促進事業展開を行い不審者に当地区の活動を知らしめる事ができたと思うが、なによりも一般地域の方々に活動認知が増え挨拶も交わす機会が多くなった。またゴミ拾いも率先して行う方々も増えた。児童・生徒との事故がなかった。
*特殊詐欺にあわないよう住民に啓発活動を行う事により、入舟地区から被害者を出さなかった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

当初合同夜間パトロールは人員不足で手薄になっていましたが、自治会長だけでなく各町内会の防犯委員を推薦していただき、また引率するリーダーとしてパトロール推進委員を組織し、今では大変多くの方々に参加いただくことができました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

夜間パトロール時は事故に気をつける為活動グッズを充実させより一層の見回り活動に努めたい。特殊詐欺に合わない為の講習会に一人でも多く出席していただき、対処方法を学んでいただきたい。

入舟地区コミュニティ協議会 安全環境部 活動紹介

特殊詐欺啓発活動



地元祭りでのチラシ配布の様子



地域のお年寄り宅への訪問



合同パトロールの様子



防犯研修会の様子



交通安全教室の様子

中央区 白山校区コミュニティ協議会

活動名：防火防犯子供パトロール

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

子供たちに、防火&防犯の大切さを理解してもらう為。
親や友達と一緒にって行事に参加した思い出を得てほしい。
コミュニティ協議会住民と子供たちと関連団体の絆を深める。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

参加する家族を増やしていく。
地域住民の参加を増やす。
安心安全の徹底。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

回覧板以外に、町内会会長・自治会長に声掛けをお願いした。
消防団員の参加人員の確保。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

消防局・消防団白山分団・警察庁

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

終わった後に、子供から良かった来年も出たいとの声が多く寄せられた。
毎年の慣例行事として、定着した。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加しやすい様に、夏休み開始の最初の土曜日にした。
当日雨が降ると中止になるので、翌日を予備日として申し込みを受けた。
保険も2日分必要だった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

白山小学校のコーディネーターと話し合っ、学校との協調を深めていきたい。



中央区 浜浦小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域で子どもを見守る安心安全マップの作成

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ① 児童の安全を守るためのパトロールがマンネリ化していた。
- ② 通学路の最新の危険箇所の情報が発信されていない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ① 各自治会、町内会で実際に街を観察して、危険な場所を探しだし、地図に表示すること。
- ② 一目でわかる様に文字を大きくし、各家庭に掲示できる大きさ（A1サイズ）にする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ① 毎月一回の編集委員会の開催
- ② 街を歩き危険箇所の把握
- ③ 今迄に発行された安心安全マップの収集と整理

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

浜浦小学校、浜浦小学校区青少年育成協議会、浜浦小学校区交通安全推進協議会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ① 地域の中で「子どもたちを危険から守る」という意識が高まった。
- ② 子どもたち自身の安心・安全に対する意識が高まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ① マップ上で危険場所を明確に示すための表現方法に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ① 浜浦小学校児童の登下校の安全を守るため、マップ上の危険場所を特に注意してパトロールするよう関係者に指示していく。
- ② このマップにもとづいたパトロールを徹底させるため、「浜浦小学校見守りたい」と「浜コミ協」との連携を一段と深めていく。



中央区 沼垂小学校区コミュニティ協議会

活動名：新潟地震被災による防災意識啓発事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・新潟地震から50年となることから、地震・津波の恐ろしさなど、防災意識の啓発が必要。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・日本海側最大とも言われる「新潟地震」直後の沼垂地域の記録写真を公共施設等に展示し広く周知すること。
- ・液状化現象等新潟周辺特有の地質構造等を専門家を招聘して講演会を開催する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・新潟地震被災記録写真の展示
展示会場 6会場（小中学校を含む。） 述べ20日
- ・防災意識啓発講演会の開催
演題「地震による津波と液状化現象」

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

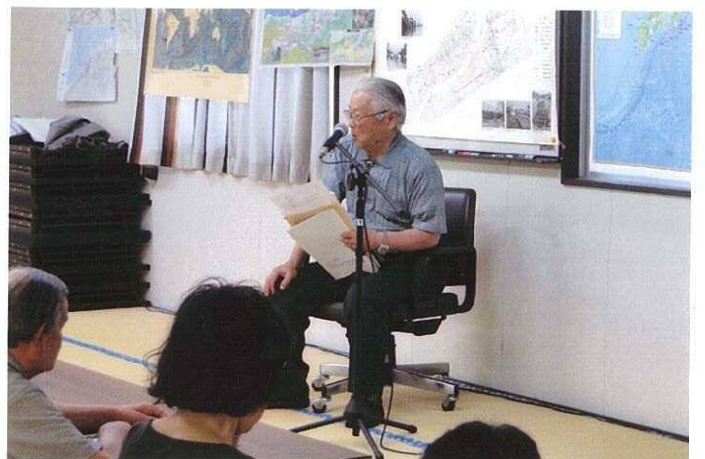
Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・小中学生を含め、新潟地震の未経験者には、現居住地でも津波被害の心配があり、今度の防災訓練への積極的な参加など防災意識が高まった。
- ・新潟地震の経験者は、記録写真や講演会によって、当時の地震・津波の記憶がよみがえり、防災意識が助長された。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・毎年実施している合同防災訓練においても避難方法、住民の安否確認方法、被災状況の把握、避難所の運営方法にも活かしてまいりたい。



江南区 両川地区コミュニティ協議会

活動名：地域の愛・誇り・絆～両川の未来は「なしっ子レスキュー隊」に任せて！

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

少子高齢化が著しい地域であるため、地域防災、災害時の安全確保の観点から、将来の地域の担い手である若い世代を育み、世代間交流を促し地域の活性化を図ることが急務であった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・ 地域と学校が連携し「人づくり・地域づくり」に取り組み、地域貢献できる中学生の育成に取り組むとともに持続可能な地域社会を築く。
- ・ 中学生のジュニアレスキュー訓練活動とその支援を核として、地域の老若男女、住民全体の防災意識の高揚及び世代間交流を促し、地域の絆と地域防災力を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・ なしっ子レスキュー隊の結成と自治消防団の支援によるジュニアレスキュー訓練活動の実施。
- ・ 新潟地震後50年を機に、地域全住民を対象とした防災訓練・避難訓練の企画・実施、「なしっ子レスキュー隊」によるレスキュー活動の展開。
- ・ 「地域貢献」をテーマに「なしっ子レスキュー隊の誕生」を題材にしたミュージカル上演。
- ・ 地域の梨農家から寄付された350kgの梨を全校生徒と地域住民と一緒にパイの餡にするジャム作り。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・ 中学生の地域防災を担う意識の高揚、地域や地域住民への感謝の念の深まり。
- ・ 中学生のコーディネートによる地域住民の世代間交流の促進。
- ・ 地域安全・地域防災に関する地域の課題に対する住民の関心・意識の高揚。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・ 地域防災訓練等に「なしっ子レスキュー隊」の活用。



江南消防署員のほか、地域住民である自主防災組織、江南方面隊両川分団の指導を受けながら交流を深める両川中学校中学生



中学生全員に地区コミュニティ協議会から「なっし子レスキュー隊」腕章（オレンジ色のオリジナル腕章）を貸与され、地域の担い手としての自覚を啓発。

創作ミュージカルで、地域貢献を考える～なっし子レスキュー隊の誕生～と題して、観客の住民・保護者に自主防災の大切さを訴えた。



秋葉区 新関コミュニティ協議会

活動名：「新関安全安心見守り楽しい隊」の結成と地域の子供の見守り活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

○各種団体が、それぞれの立場で児童生徒の見守り活動（交通安全・防犯等）を行っているが、目的を共有する部分は共同で行う事により一層の効果が発揮できると考えた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- 「地域の子は地域で守る」の精神で地域住民が子供たちを見守る体制をつくる。
- 新関小学校の集団下校訓練時に、お互いに名前と顔を知る（対面式）機会にする。見守り隊員と児童と一緒に下校することにより通学路の危険箇所を知る。
- 災害時では、児童の安心安全に役立つようにする。
- 普段は「ながらパトロール」的な存在で児童を見守る。
- 緊急時（犯罪・熊、猿などの出没）に備える。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 小学校全児童との対面式の実施。
- 集団下校時の付添いと指導。
- 交通安全運動等への参加、見守り。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

○交通安全協会・青少年健全育成会・各自治会・民生委員・新関小学校・PTA・駐在所

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- コミュニティ協議会が働きかけた結果、55名もの会員が登録された。
- 新関小学校児童の交通安全や防犯の面で大いに役立っている。
- お互いに声を掛け合うことから、大人と子供との挨拶が向上している。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- 隊員の意識や使命感の向上のため、ユニホームや帽子を検討し全会員に配布した。これにより連帯感が高まった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- 各地で、子供が関係する犯罪や犯罪に巻き込まれる事例が多くなっている。普段の見守り活動を一層充実させたい。
- 交通安全運動期間などは、さらに多くの隊員が参加できるようにしていきたい。



秋葉区 新関コミュニティ協議会

活動名：災害に強い福祉コミュニティづくりの推進

「イ・小学校、保育園と連携した避難訓練及び避難所運営マニュアルの検証
ロ・避難所設営並びに宿泊体験 ハ・防災の日の啓発活動」

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

イについては、「地域の子供達は自分たちで守る」の精神で、学校や保育園と連携して実施。
ロについては、避難所運営マニュアルを検証し不備を補うとともに、避難所で実際に寝泊りする体験がいざという時の避難所運営に役立つと考えた。
ハについては、地域住民の防災意識の持続高揚のため「新関防災の日」に広報活動を展開。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- 園児や児童の安心安全のため、いざという時に即時に対応できる体制をつくるために。
- 避難所のスムーズな設営と運営の在り方を確立するために。
- 地域住民の防災意識の向上のために。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 小学校などと緊密に連携を取り、事前の協議を重視した。
- 自主防災担当者会議を開催し、自主防災活動の趣旨や目的の理解を図った。
- 青色パトロール隊並びに地元消防団の協力を得、パトロール車、消防自動車で地域を巡回し、防災意識の啓発活動に取り組んだ。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

民生委員・地域ボランティア・消防団・小学校・保育園

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- 新潟地震から50年の節目の年に当る新潟市一斉の訓練に「新関自主防災組織」も参画することが出来た。これにより園児や児童は、自分たちを守ってくれる地域の人たちがいることを知る機会となった。
- 避難所運営マニュアルの検証により多くの課題が見つかった。避難所設営と宿泊体験は、避難民の立場にたって考える絶好の研修となった。
- 「防災の日」に合わせた啓発広報活動により、防災意識の継続高揚が図られた。
- 「新関自主防災組織」や自治会関係者、学校、保育園、消防団などの協力体制が一段と強固になった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- 避難訓練・避難所マニュアルの検証・災害時用のストーブの作製や宿泊体験など盛り沢山の内容であったため、緻密な計画が要求されるものであった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- 「防災の日」の日に合わせ、新関地域一斉（住民全員で同時に）の防災訓練を実現する。
- 併せて「家族防災会議」も取り入れる。



西区 西内野コミュニティ協議会

活動名：夜間防犯パトロール

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の防災防犯を自らも守る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

時間帯は夜間、西内野の全域を対象としてパトロールを行い、防災防犯を促し少しでも安心安全な地域づくりを行うこと。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

全自治会から巡回員をお願いし、拍子木、提灯、防犯灯、腕章を携行し、決められた地域を班に分けて計画的に巡回する。夏が終わる9月～11月実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

活動中は、火事や不審者等の事件は今までなく、住民は安心安全を感じていた。パトロールで回ること、事件・事故の抑制に一役買ったのではないかと期待できる。毎年継続することで、さらなる効果が期待できる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

万が一、不審者等に遭遇した場合は、警察に連絡をし、自分では対応しないようにした。民間では、限度がある。毎年パトロール員が違うので、その点については、会議で重々お願いしている。一人では行わず、身の安全のため数人のグループで巡回してもらっている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

西内野小校区では、定着している。今後も自治会の協力を得ながら継続し、地域の安心安全に努めたい。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：防犯ボランティア活動事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 安心安全に暮らせる地域環境づくり。
2. 自転車を利用しての通勤通学者が増加したことにより自転車盗難事件が発生している。
3. 不法侵入盗難事故防止。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 寺尾交番、西区役所と連携し、地域住民の安心安全な生活を守るため防犯パトロールを行う。
2. 小中学児童が安全に通学できるよう節目節目に防犯パトロールを行う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 寺尾駅、新大駅前自転車盗難パトロール。
2. 商業施設における車上狙い盗難防止パトロール。
3. 自転車施錠のチラシ、防犯チラシの配布。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 前年度に比較し自転車盗難被害を減少させた。
2. のぼり旗、チラシ配布で防犯意識を高めた。
3. 盗難件数を削減した。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

西警察署、寺尾駐在と連携を図り、より一層のパトロール体制の強化が必要。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

本事業は継続的に行うことが重要なことから次年度以降も継続する。



活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 大規模な災害時に、地域全体で的確な対応ができるよう中学生を対象に応急措置技術を身に付けさせ、大人の助力となるように養成する。
2. 災害に対応できる人員の増大を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 災害時に備え、中学生を対象に防災に関するスキルを高める。
2. 中学生の先輩から後輩に防災意識を継続させる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 心肺蘇生・AED 使用訓練
2. 応急手当・搬送訓練
3. 初期消火訓練

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

地域消防署及び消防団

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 訓練を行うことで緊急時に的確に行動できると思う。
2. 災害時に地域の大人と連携し防災活動ができると思う。
3. 中学時代に防災意識を備えることで、地域内外を問わず応急対応ができる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 中学生の部活動と重なり、参加人数が少なかった。
2. 次年度以降は、学校と連携を図り参加者を多くする。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

災害時の緊急対応が重要視される昨今、緊急対応措置の必要性が求められていると思うので、次年度以降も養成講座を継続し行う。



西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

- 活動名：
- ・ 災害時避難所調査と民間締結
 - ・ 防災の現状調査と消防機関との実態と検証

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の防災対策として災害時避難所収容確保は十分にできているのか。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

災害時避難所収容確保は十分にできるのかまた住民行動が整理されているのか。
季節風の強い冬季を例に火災の延焼危険度と防火対策は十分なされているか。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 1, 現況地図検討会資料をベースとした、机上での危険度・難易度の調査。
- 2, 調査結果に基づく、行政・西消防署・消防団との意見交換会の開催。
- 3, 災害時避難所収容確保と地域住民行動の整理。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

行政・西消防署・地元消防団

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

万一の火災に備えた危機感と対策レベルはどうかなど、関係機関と一体となった検討ができたこと。
災害時公設避難所の確認と私設設備(地域内大学)との協定書締結ができたこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

現状を把握するための問題点の洗い出しと、関係行政や施設管理者との交渉など。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度以降も、地域防災のあり方と課題解決に向けて行政と連携し安心安全な街づくりへの提言を進めること。

西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災訓練実施・避難マップ作成

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

東日本大震災後、避難に関心が深まり、またどのように対応すべきか、ということになりました。また、小針地域は河川遡上による津波被害が想定されます。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

避難訓練（地震津波）の実施と避難マップ（新潟市に協力）の作成をする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

防災訓練等は防災防犯部会長を始め部員の企画運営と、小針小学校の協力を得た。避難マップの作成は新潟市主催の検討会に参加し、マップ作りに協力した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

小針小学校・新潟市

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

防災訓練を毎年開催することで防災意識の向上が図られた。また、避難マップは平成27年度に作成される見込みである。（各家庭に配布予定）

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

自治会の避難経路及び災害発生に対する関心が薄いため、情報収集に支障があった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

防災訓練、防災講演会、防災セミナーの開催を通じて防災意識の向上を図る。